

医師の技術料への工夫

— 少ない原資のなかでの
山形大学医学部附属病院の工夫と限界 —

山形大学 医学部長

中央社会保険医療協議会 委員

嘉山 孝正



山形大学医学部改革の取り組み

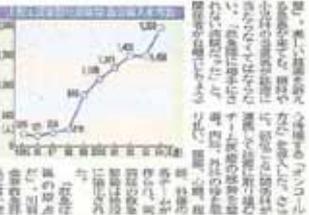


病室で勤務した患者が医師の面談。対応を受けた病室。ICUによって各科医師を集中してチームで診療にあたる。—山形大学附属病院

**山形大医学部
機構改革**

【図】

**救急対応
チーム診療導入**



「各科の壁」破り新態勢

山形大学医学部は、2019年度から「救急対応チーム診療」を導入し、各科の壁を破り、新態勢を築いていく。この取り組みは、救急医療の質を向上させるだけでなく、医師の負担を軽減し、患者の満足度を高める効果がある。また、チーム医療の推進により、医療の効率化とコスト削減も期待されている。

数字が語る「健全経営、医療最前線」

山形大学医学部は、2019年度から「健全経営」を推進し、医療最前線を築いていく。この取り組みは、経営の効率化と医療の質の向上を同時に実現させる。また、デジタル技術の活用により、診療の精度とスピードを向上させることも目指している。

赤字体質にメス

山形大学医学部は、2019年度から「赤字体質」にメスを入れ、健全経営を推進する。この取り組みは、経営の効率化と医療の質の向上を同時に実現させる。また、デジタル技術の活用により、診療の精度とスピードを向上させることも目指している。

【山形大医学部付属病院 収支データ】

項目	2018	2019	2020	2021	2022	2023	
収入累計計	9,208,874	9,274,024	9,995,030	10,770,502	10,862,701	9,895,201	9,849,429
支出累計計	9,363,929	10,956,877	10,319,937	10,526,199	10,873,895	10,197,831	9,477,293
経常収支比率	37.63	36.42	49.25	42.92	45.67	42.94	44.29
経常収支比率(平均)	37.76	38.39	44.03	37.43	39.20	35.24	35.79
経常収支比率(標準)	35.12	35.10	35.22	35.7	35.4	35.1	35.4
医師数(平均)	41.0	42.3	44.0	43.6	47.3	51.1	50.8
入院患者数(人)	136,548	136,755	202,024	187,125	117,826	146,286	125,200
外来患者数(人)	222,840	230,882	244,024	253,887	246,482	237,371	238,156
手術件数(件)	2,255	2,659	2,572	3,395	3,733	3,336	3,241

山形大学医学部は、2019年度から「赤字体質」にメスを入れ、健全経営を推進する。この取り組みは、経営の効率化と医療の質の向上を同時に実現させる。また、デジタル技術の活用により、診療の精度とスピードを向上させることも目指している。



第3部 山形大医学部・人村育成

環境、待遇も大切



卒業後の臨床研修に向け、教員間の説明を熱心に行う医学部生。5月10日、山形市・中野ビル2Fロビーで山形大附属病院

「本質」は指導者の魅力

山形大学医学部は、2019年度から「本質」は指導者の魅力を重視し、医療最前線を築いていく。この取り組みは、指導者の魅力を引き出し、医療の質を向上させる。また、デジタル技術の活用により、診療の精度とスピードを向上させることも目指している。

山形大学医学部は、2019年度から「本質」は指導者の魅力を重視し、医療最前線を築いていく。この取り組みは、指導者の魅力を引き出し、医療の質を向上させる。また、デジタル技術の活用により、診療の精度とスピードを向上させることも目指している。

『山形新聞』
平成18年3月31日
3月27日、6月7日

徹底した情報開示

1996年（13年前）
の医療事故

2001年：
内部調査により
隠蔽発覚 公表

2002年：
プレイム・フリー・
システム導入



明細書を全患者に無料で発行
(2009年4月、大学病院で全国初)

情報開示へ新明細書

レセプトと同内容
全患者に無料発行

山形大医学部は4日、付属病院のすべての患者に対して4月から、診療内容と費用の詳細が分かる明細書を無料で発行すると発表した。全患者への無料発行は、全国でも先進的な取り組みで、大学病院では初めてという。

4月から山形大医学部

新たに発行するのは、レセプト(診療報酬明細書)と同じ内容。現在は「入院料」「検査」「投薬」といった区分ごとの料金表示だが、「心マッサージ1時間」「超音波」など、具体的な内訳が加わる。どのような処置を受け、それぞれいくらの料金が掛かっているかが分かるようになる。患者本人の同意がない場合は、従来の明細書を出す。

医学部によると、多くの病院では、患者が希望した場合、レセプトと同様の明細書を発行しており、有料のケースもあるという。山大医学部では、これまで患者からの希望がなかったが、情報開示を推進する一環として発行を決めた。嘉山孝正医学部長は「医療に対する不安や不信を取り除くには、知ってもらうことが一番だ。過重労働が指摘される医師の労働内容が、明らかになる効果もある。取り組みが全国に広がるよう期待したい」としている。



技術料および時間外手当の原資

財源

管理当直手当の減額
(2万 1万円)で捻出した金銭

大学の運営費交付金



[従来の管理当直]

診療科ごとに
17科(17人)
@20,000円



診療科ごとに
業務量・リスクが
大きく違うため
見直し!

[2005年12月から]

1フロアに1人
(9人体制)
@10,000円

時間外手当の概要（1）

時間外手当（緊急時診療従事調整手当）

救急部からの要請により救急対応を行った医師等及び
救急対応を行った医師等に1回5,000円を支給

(2006年7月適用)

時間外手当の概要（2）

オンコール手当 6,000円 / 回

勤務時間外・所定休日における救急外来患者及び
病状急変の入院患者のために
待機を命じられた医師等に支給

(2005年4月適用)

時間外手当の概要（3）

大学院生に対する手当

- (1) 時間外手当（緊急時診療従事調整手当）に準じて、
1回5,000円を支給
- (2) 時間外救急診療従事手当に準じて、
宿直1回28,000円、日直1回14,000円を支給

(2006年4月適用)

技術料の概要（1）

時間外技術料・高度技術料

35,000点以上の手術を行った手術チーム、
休日・時間外に手術を行った手術・麻酔
各チームに当該手術・麻酔の保険点数請求額の
1/10ずつの額を支払

(2006年7月新設)

技術料の概要（2）

分娩リスク手当

分娩業務に従事した産科婦人科医師等（2人まで）、
小児科医師等（1人まで）に対して支払

従事医師数	手当の額
1人	1人につき 20,000円
2人	1人につき 10,000円
3人	1人につき 7,000円

(2008年6月適用)

時間外技術料・ 高度技術料の規定

目次

- 第1章 総則（第1条-第10条）
- 第2章 基本給（第11条-第21条）
- 第3章 諸手当（第22条-第54条）
- 第4章 給与の特例等（第55条-第60条）
- 第5章 雑則（第60条）
- 附則

第1章 総則

（目的）

第1条 この規程は、国立大学法人山形大学（以下「労基法」という。）第2条第1項に規定する職員（以下「職員」という。）の給与の支給等に関する事項を定めることとすることを目的とする。

（法令との関係）

第2条 職員の給与の支給等に関しては、以下「労基法」という。）その他の法令による。

（給与の種類）

第3条 職員の給与は、基本給及び諸手当（以下「給与」という。）に支給する。ただし、支給定額日（以下「支給日」という。）が土曜日に当たるときは16日とし、和23年法律第178号）に定める休日に当たるときは18日に支給する。

（給与の支給日）

第4条 基本給は、毎月17日（第1項の支給日）に支給する。ただし、支給定額日（以下「支給日」という。）が土曜日に当たるときは16日とし、和23年法律第178号）に定める休日に当たるときは18日に支給する。

（診療従事特別調整手当）

第50条の6 診療従事特別調整手当は、勤務時間外・所定休日における救急外来患者及び病状が急変した入院患者の手術・麻酔に従事した次に掲げる医師等に対して支給する。

- (1) 指導医・執刀医，第一助手又は第二助手として手術に従事した医師等
- (2) 指導医・麻酔医，第一麻酔医又は第二麻酔医として麻酔に従事した医師等

2 前項の手当の額は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 保険診療の点数による請求額を積算し、請求額の1割に相当する額を基礎とし、次号に定める割合により案分して支給する。この場合において、1回当たりの支給額は100円未満を切り捨てる。
- (2) 支給割合は、次の表に定めるとおりとする（各1回につき）

手術担当医	支給割合	麻酔担当医	支給割合
執刀医	5 / 12	麻酔指導医	5 / 12
第一助手	4 / 12	第一麻酔医	4 / 12
第二助手	3 / 12	第二麻酔医	3 / 12

3 前2項に規定するもののほか、診療従事特別調整手当の支給に関し必要な事項は、別に定める。

**さらに、ハイリスク性を考慮して、
35,000点以上の手術に対しても支給**



技術料の一例

— 心臓血管外科手術 —

④ **冠動脈バイパス術 + 収縮性心膜炎手術** (計78,000点)

手術時間: 15時間59分

④ **全身麻酔** (46,300点)

麻酔時間: 17時間44分



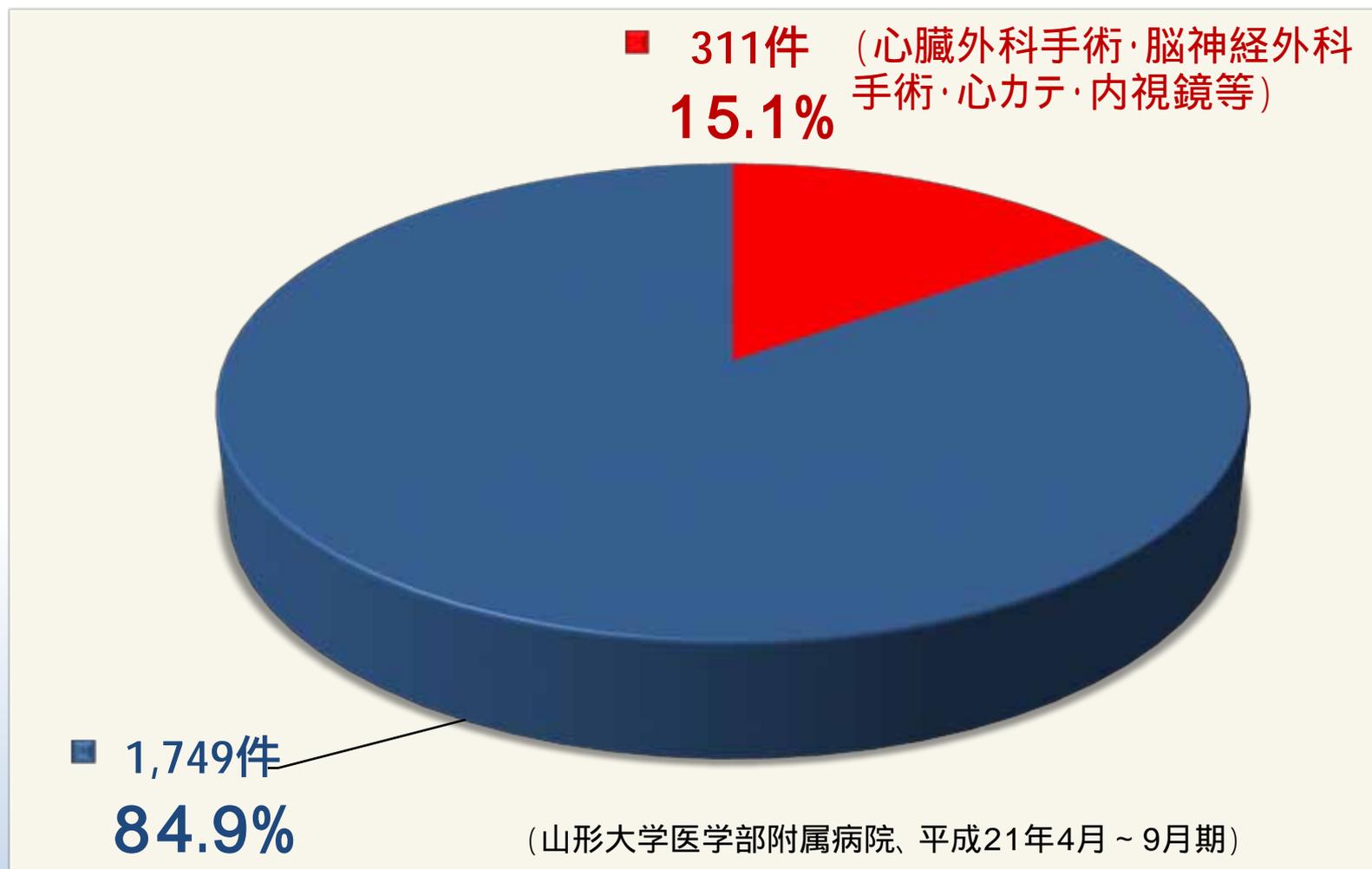
従事医師	技術料
執刀医	32,500円
第一助手	26,000円
第二助手	19,500円

従事医師	技術料
麻酔指導医	19,300円
第一麻酔医	15,400円
第二麻酔医	11,600円

78,000円を按分

46,300円を按分

時間外手術・高度技術料の対象



技術料の平均額

全対象手術

- ・ 1件あたり**4万9,740円**
(1,629万4,000円 / 311件)

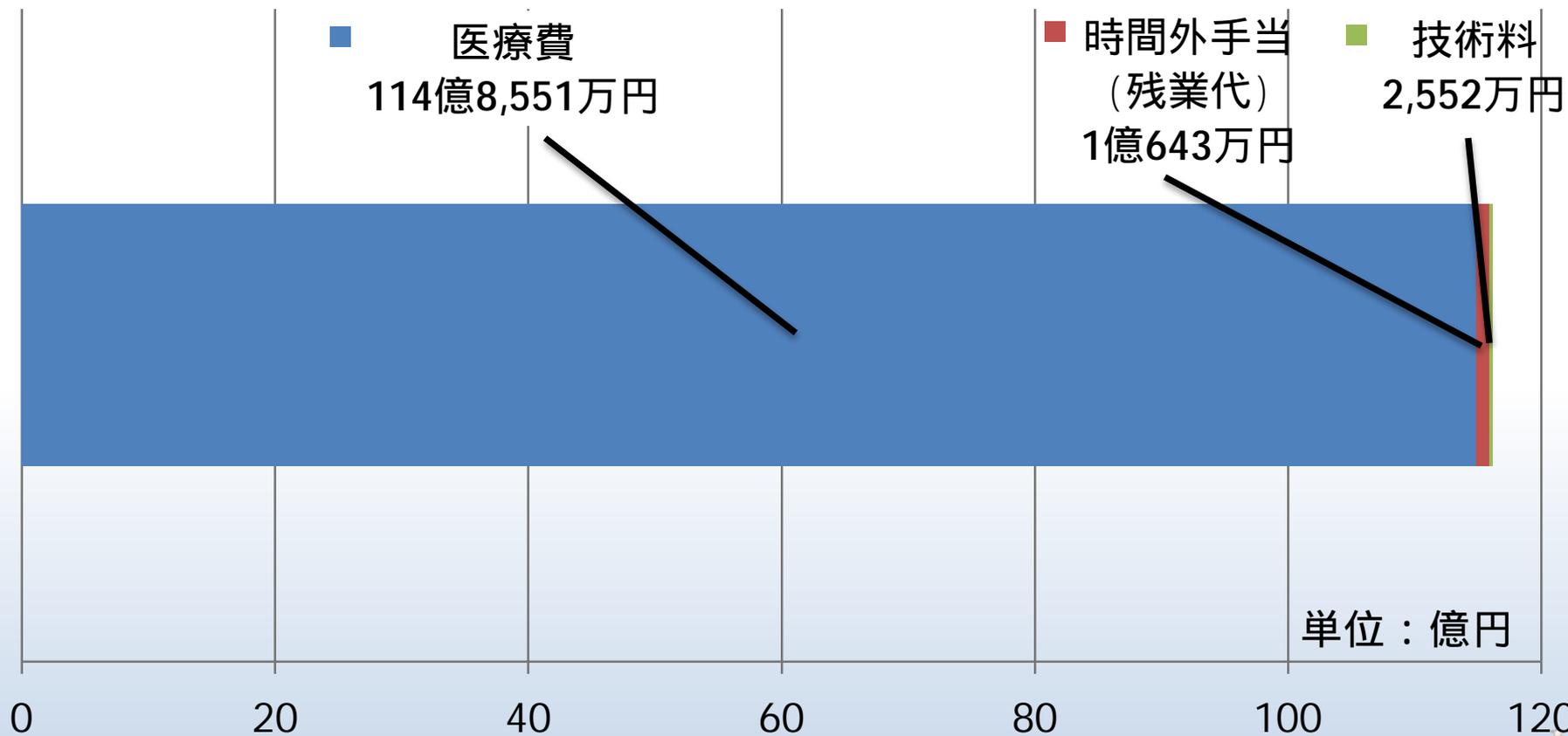
35,000点以上の手術

- ・ 1件あたり**6万7,545円**
(1,546万7,700円 / 229件)

対象となる全手術(35,000点以上の手術 + 休日・時間外手術)の
1件あたりの平均技術料
(山形大学医学部附属病院、平成21年4月～9月期)

大学病院の医療費に対する 残業代+技術料の割合

2008年度病院決算



特定機能病院での労基署是正勧告

群馬大、残業代不払い

200万円 是正勧告受け支給

群馬大学（前橋市）が昨年11月、職員約700人分の残業代約200万円を未払いしていたことが、労働基準監督署の現地調査で判明した。群馬大は既に、一斉に国立大学法人体質へ移行し、職員は国公立職員でなくなった。大学の国立大学法人化後、残業代の不払いが頻発する背景には、労務管理が適正な水準にならなかったことが明らかで、労務管理が適正な水準で、人件費の増大は避けられなければならない。

法人化で業務増加 交付金と職員は減

群馬大は、1人あたりの残業代は約200万円に達している。法人化後も、業務増加が原因で、職員は減少している。法人化後、交付金は減少し、職員も減少している。法人化後、業務増加が原因で、職員は減少している。法人化後、交付金は減少し、職員も減少している。

東北大病院 残業代不払い

労基署 医師260人分の550万円

東北大病院（仙台市）が医師の残業代を約550万円にわたって未払いしていたことが、労働基準監督署の現地調査で判明した。東北大病院は、医師の残業代を約550万円にわたって未払いしていたことが、労働基準監督署の現地調査で判明した。

医師の相談を受けた仙台労基署が、〇七年十二月に、東北大病院に是正勧告を出した。東北大病院は、〇七年十二月に、東北大病院に是正勧告を出した。

長崎大も残業代未払い

計6700万円、労基署勧告

長崎大学（長崎市）が昨年、長崎労働基準監督署から2度にわたって職員に対する残業代未払い（サビレス残業）の是正勧告を受けていたことがわかった。未払い額は計約6700万円。既に本人への支払いを済ませ、超過勤務の短縮や労働時間管理徹底のための取り組みを進めているという。

同大によると、勧告を受けたのは05年2月と11月の2回。1回目は医療系学系、2回目は法学系学系。1回目は医療系学系、2回目は法学系学系。1回目は医療系学系、2回目は法学系学系。

- 右) 『朝日新聞』 2008年9月26日
- 中) 『河北新報』 2009年1月8日
- 左) 『朝日新聞』 2006年4月25日

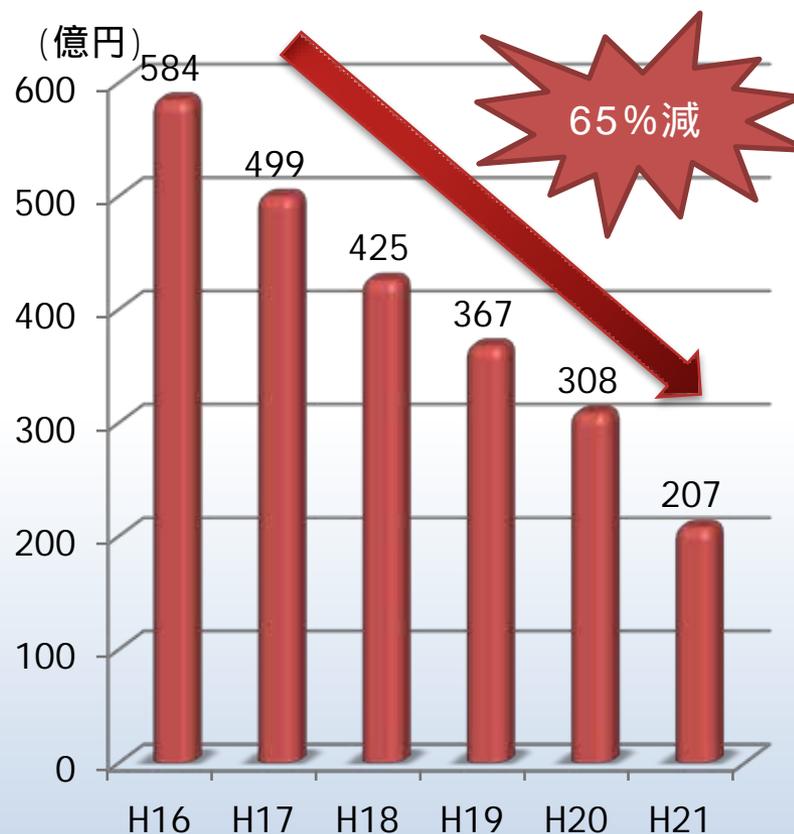


原資となってきた**運営費交付金は激減**

国立大学法人



国立大学法人附属病院



全病院・診療所に技術料を拡大すると、

年間推計総額

・ 503億8,485万円
(国民医療費の0.15%)
= 745,945件 × 67,545円

推計の都合上、35,000点以上の手術に対する高度技術料のみの拡大とする。

全国の全手術件数についての統計データがないため、『平成17年度医療施設(静態・動態)調査・病院報告概要』より、対象となる手術件数を推計。

具体的には、開頭手術が77,556件、人工心肺を用いた手術が44,268件、悪性腫瘍手術が439,105件、腹腔鏡下手術が144,324件、胸腔鏡下手術が40,692件。

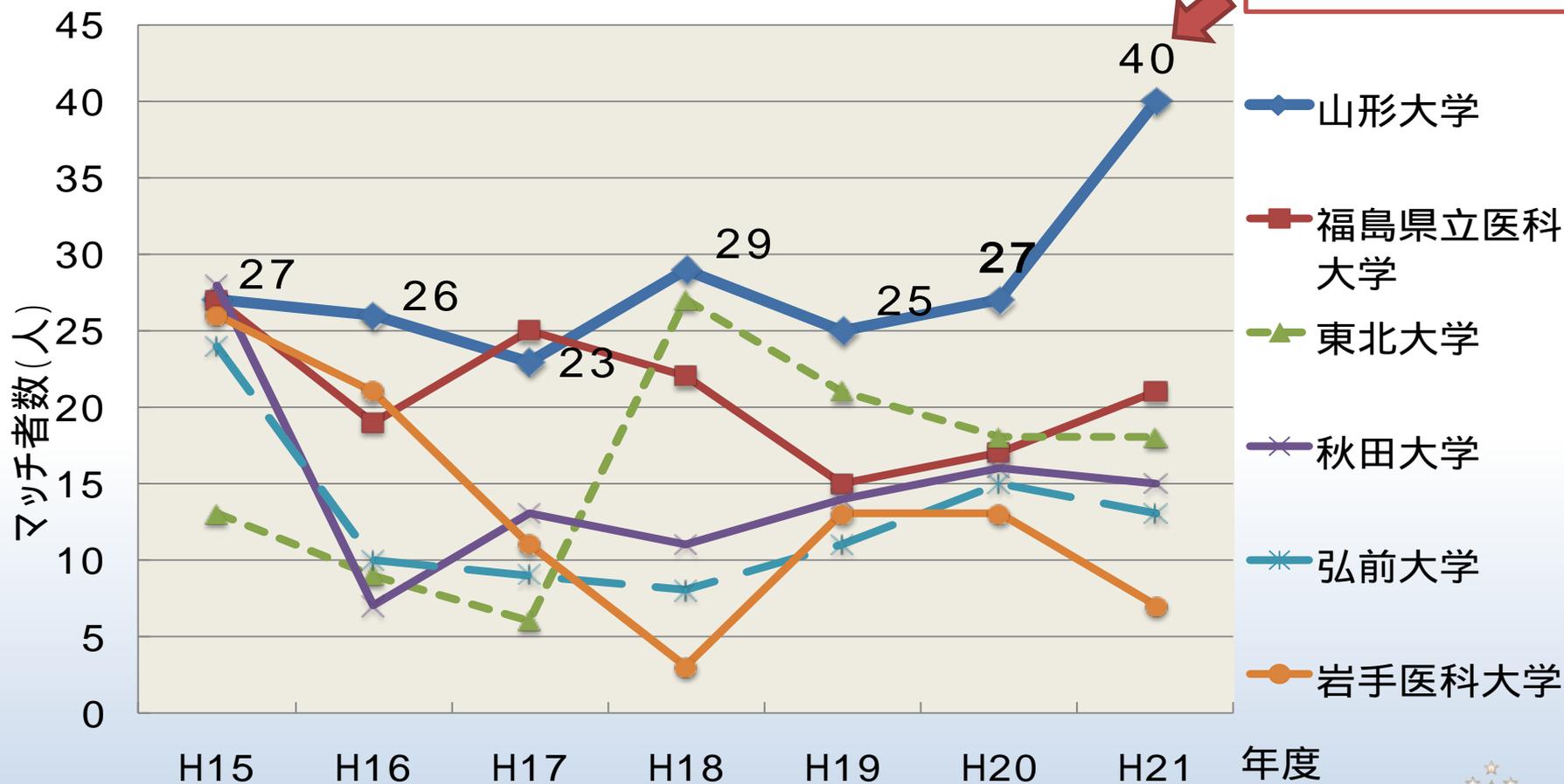
ハイリスク医療業務への 適切な対応

㊦ 科の偏在が解消

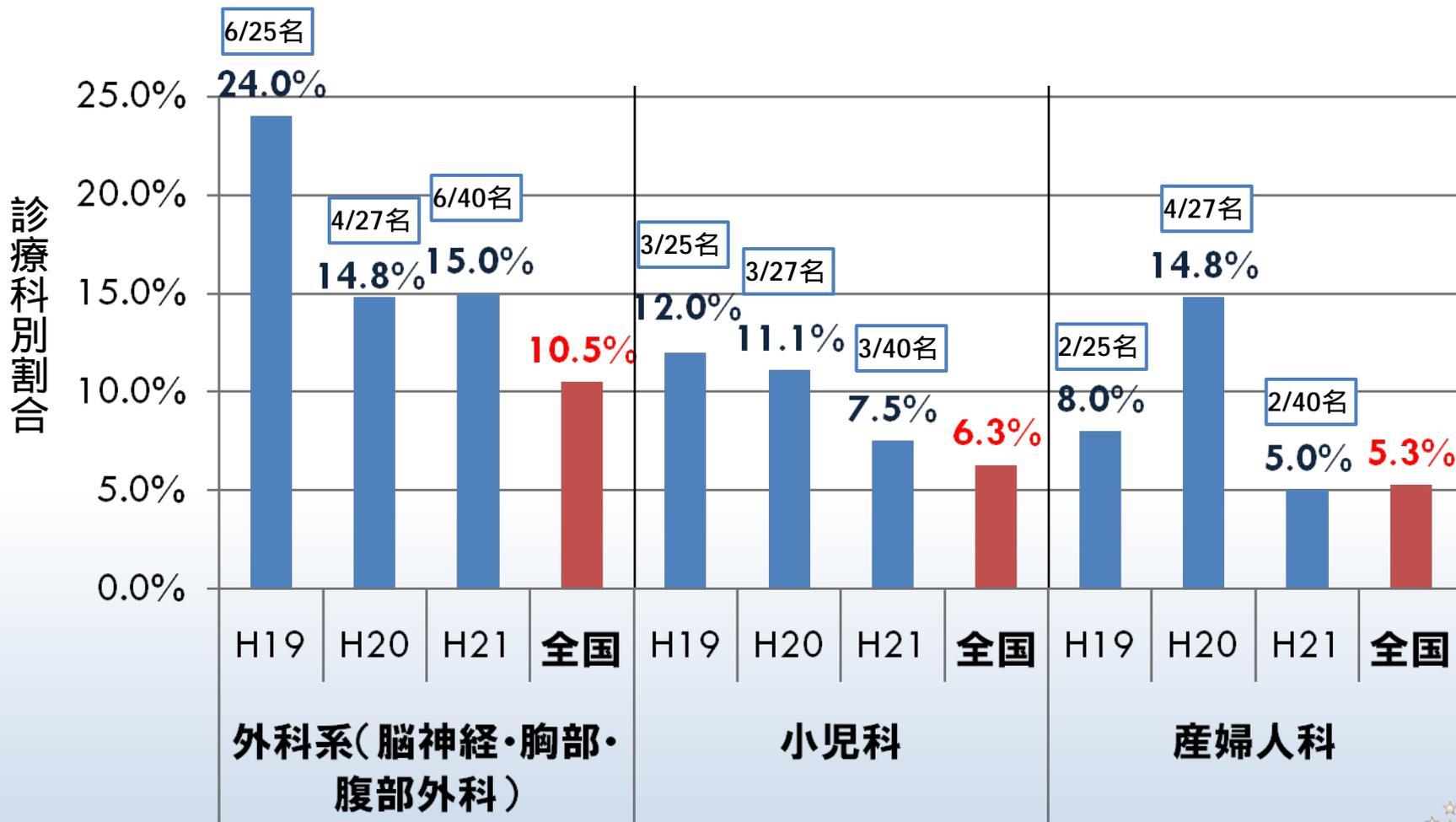
㊦ 外科医・産科医の減少を防ぐ

山形大学の 卒後臨床研修マッチ者数は東北No.1

全国32位/80校



山形大学の 外科系・産婦人科・小児科の入局者数



全国値は、H20年度。全国医学部長・病院長会議調べ



その他の職場環境改善（１）

短時間労働制度

- ・ 従来、出産・子育てで当直や長時間労働ができず、正規職員として働けなかった女性医師を正規職員として雇用（2008年4月から）

肩身が狭くなくなった

2008年度は17名が利用



その他の職場環境改善（２）



収益を還元

24時間保育所「すくすく」を
病院内に設置：職員に**安心感**
医療の質の向上

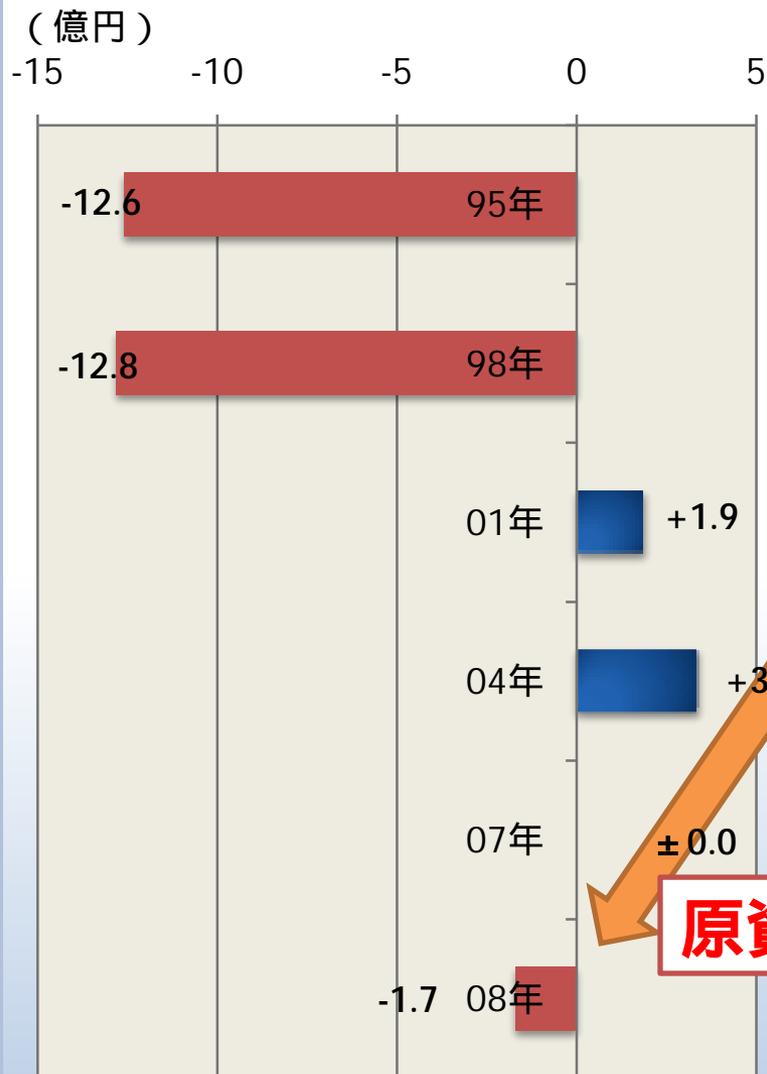


24時間オープンコンビニを設置
(国立大学で全国初)

患者さん・職員の利便性

山形大学病院の単年度収支の推移

～ 経営改善取り組みも限界～



原資が枯渇!

附属病院の経営改善が進む大学

順位	大学名	附属病院収益力
1	山形大学	99.7%
2	高知大学	102.1%
3	佐賀大学	102.2%
4	滋賀医科大学	103.7%
5	香川大学	104.4%
6	秋田大学	104.5%
7	宮崎大学	105.4%
8	旭川医科大学 大分大学	106.1%
10	三重大学	106.8%
11	鳥取大学	107.2%
12	浜松医科大学	108.4%
13	山梨大学	109.2%
14	岡山大学	109.3%
15	福井大学	109.5%
16	群馬大学	110.4%
17	山口大学	110.8%
18	名古屋大学	111.3%
19	筑波大学	111.6%
20	千葉大学	111.7%

(注) 附属病院収益力(=附属病院運営費交付金を除く経常費用÷経常収益)

『週刊東洋経済』
2005年10月15日号
Yamagata University

T. Kayama

